

年金業務・組織再生会議（第33回）議事要旨

- 1 日時 平成20年6月30日（月）16:30～17:20
- 2 場所 内閣府本府5階特別会議室
- 3 出席者
（委員・50音順、敬称略）
岩瀬達哉、岸井成格、小嶋典明、斎藤聖美、野村修也、八田達夫、本田勝彦
（政府）
渡辺喜美行政改革担当大臣、山本明彦内閣府副大臣、戸井田徹内閣府大臣政務官、
福井良次行政改革推進本部事務局長、江澤岸生行政改革推進本部事務局次長、加
瀬徳幸行政改革推進本部事務局参事官、長田浩志行政改革推進本部事務局企画官
- 4 議事次第
 - (1) 開会
 - (2) 厚生労働省・社会保険庁からのヒアリング
坂野泰治社会保険庁長官、宮島俊彦厚生労働省大臣官房総括審議官、吉岡荘太
郎社会保険庁総務部長、石井博史社会保険庁運営部長
 - (3) 意見交換（日本年金機構の当面の業務運営に関する基本的方針について（最終
整理）（案））
 - (4) 閉会
- 5 議事の経過
 - 厚生労働省、社会保険庁から6月27日に開催された「年金記録問題に関する
関係閣僚会議」の資料について説明があった。これに対し、座長から、日本年金
機構が正常に業務を行えるよう、年金記録問題については、機構発足までの間に
できる限り解決するために全力で努力していただくとともに、今後、日本年金機
構の設立準備に向けて、全力を挙げていただきたいとの発言があった。
 - 続いて、前回の会議での議論を踏まえ、座長の指示により必要な修正を加えた
最終整理案について、変更点の説明が事務局から行われた。
委員から若干の修正意見があり、必要な修正をした上で、最終整理として確定
させることが了承された。
 - 最終整理について、座長から渡辺行政改革担当大臣に手交された。

- 渡辺行政改革担当大臣から、33回にわたる会議で細部まで踏み込んだ議論がされ、最終整理を取りまとめたことに対して感謝の言葉があった。また、年金記録問題については最終整理に影響を及ぼさないよう厚生労働省、社会保険庁がしっかりと対応すること、そして最終整理をシームレスな形で設立委員会につなぐことが肝要であるとの発言があった。

<文責：行政改革推進本部事務局（速報のため事後修正の可能性あり）>